

磐梯町 議会だより

第 189 号

平成20年2月

発行 磐梯町議会
福島県耶麻郡磐梯町
大字磐梯字中ノ橋1855
☎ 0242-74-1219
編集 磐梯町議会広報委員会



磐梯町冬まつり

12月定例会

- ☆ 条例改正・補正予算・請願…………… 2ページ
- ☆ 常任委員会の報告…………… 3ページ
- ☆ 一般質問…………… 4ページ
- ☆ 議員研修…………… 13ページ
- ☆ 議会の動き・臨時会・編集後記…………… 14ページ

12月定例会

平成十九年十二月定例会は、十二月十日から十四日までの会期で開催されました。

初日の本会議は、町長の行政報告の後、九名の議員が質問に立ち、当面する町政の諸問題について町当局の所信をただしました。

本定例会では、請願、専決処分事項の承認、条例の改正、請負契約の変更、定款の変更、一般会計補正予算ならびに特別会計補正予算などを含む十四議案が審議され、いずれも原案通り承認、可決されました。

専決処分事項の承認

「福島県市町村総合事務組合規約の変更について」

平成19年10月31日をもって伊達市国見町大枝小学校組合が脱退しました。

「福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少について」

平成20年7月1日をもって飯野町が脱退しました。

定款の変更

「会津若松地方土地開発公社定款の変更について」
郵便局の民営化に伴う改正をするものです。

条例の改正

「磐梯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

年齢65歳以上の高齢等年金受給者の世帯主を対象に、国民健康保険税を新たに特別徴収の方法によって徴収するものです。

請負契約の変更

「史跡慧日寺跡本寺地区金堂復元工事請負契約の変更について」

金堂復元工事において、風雪対策、風鐸の設置、管理柵の設置を追加契約するものです。

請願・意見書

「義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の充実に求める請願」

「公的保育制度の堅持・拡充・保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出について」
審議の結果、原案通り可決され、関係機関に意見書が提出されました。



竣工が待たれる金堂復元工事

各会計の補正予算の概要

会計名	補正額	補正後の予算総額	補正の内容
一般会計	3億8,062万8千円	33億4,328万5千円	法人町民税・財政調整積立金・減債積立金
国民健康保険特別会計	2,002万6千円	4億6,266万8千円	療養給付費・高額医療費
介護保険特別会計	248万2千円	3億1,160万6千円	高額介護サービス費
簡易水道特別会計	△ 93万8千円	3,333万3千円	事業費予算の組み替え
水道事業会計（資本的支出）	364万3千円	1億5,635万9千円	配水施設工事費
農業集落排水事業特別会計	△ 1,486万6千円	1億9,539万7千円	補助事業費予算の組み替え
公共下水道特別会計	27万1千円	2億3,384万7千円	補助事業費予算の組み替え
個別生活排水事業特別会計	452万4千円	843万9千円	合併浄化槽整備箇所の増
七ツ森地区下水道事業特別会計	311万5千円	616万5千円	処理場ポンプ移設工事費

常任委員会の審査結果

総務文教厚生委員会では（要旨抜粋）

経済環境委員会では（要旨抜粋）

■一般会計補正予算（第四号）

（歳入）

Q 法人町民税の内訳は。
A 町内三企業の好景気による申告で三億七千五百八十万円の増額となります。

■国民健康保険特別会計補正予算（第三号）

（歳出）

Q 医療費の上昇の疾患内容は。
A 脳疾患、整形、癌等が増加しています。

■介護保険特別会計補正予算（第二号）

（歳出）

Q 補正の内容は。
A 高額介護サービス費保険給付の過年度申請五十万円増額が主です。

■水道事業会計補正予算（第三号）

Q 緊急時の水道事故等の対応及び、老朽管の布設替えはどうなっているか。

A 緊急時は夜間、休日ともに対応できる体制をとっています。老朽管については、地域水道ビジョン等を策定し、今後進めてまいります。

■公共下水道特別会計補正予算（第三号）

Q 受益者分担金の未収は。現在の未納者は22名の未接続のかたで総額三百四十四万円です。

A 受益者分担金の未収は。現在の未納者は22名の未接続のかたで総額三百四十四万円です。

■個別生活排水事業特別会計補正予算（第二号）

Q 受益者分担金が当初予算より増えた理由は。

A 現在五つの下水道会計

があり、料金体系や会計の統合まで含めて委員会でも検討しています。

Q 施設整備の減額内容は。落合地区及び町屋地区の舗装復旧工事です。

A 落合地区及び町屋地区の舗装復旧工事です。

■七ツ森地区下水道事業特別会計補正予算（第二号）

Q 維持管理費増の内容は。下水道処理施設汚泥引き抜きポンプの位置に問題があるため、ポンプのかさ上げ工事を行うものです。

A 維持管理費増の内容は。下水道処理施設汚泥引き抜きポンプの位置に問題があるため、ポンプのかさ上げ工事を行うものです。

Q 逆に使用料が減となった理由は。

A 見込みよりも一人から二人世帯が多く使用料が減となっています。

Q 想定していなかった一括納入が増となり、分割納入も増加したものです。

A 想定していなかった一括納入が増となり、分割納入も増加したものです。

を問う 町政（一般質問）

（登壇順）

－鈴木貞男議員－

1. 道の駅開設について
2. 町の景観と環境汚染防止について

－遠藤将夫議員－

1. 農業経営所得安定対策について
2. 町の人口増加の取り組みについて
3. 行政改革の集中改革プランの取り組みについて

－佐藤孝則議員－

1. 人にやさしいまちづくり整備推進について
2. 幼保の連携の推進について

－菅沼一雄議員－

1. 国際交流の継続と国内交流の検討について

－吉田徳昭議員－

1. まちづくりの大綱に対する今後の計画立案について
2. テレビ電話の推進事業と実態について

－佐藤貞夫議員－

1. 人口の減少に歯止めをかけ増加に転ずる対策について
2. 「道の駅」の完成後に向けての準備の進行について

－鈴木和意議員－

1. 元気の出るまちづくりについて
2. 平成20年度の医療対策について
3. 農業が続けられる農政対策について

－穴澤勝俊議員－

1. IT化推進の今後の活用について

－鈴木久一議員－

1. 通学路に対する交通安全対策について

一般質問

— 鈴木 貞 男 議員 —



道の駅開設について

(町 長)

物産館の運営には各種団体との連携が不可欠

【質問】 自立のまちづくりを進めている磐梯町は慧日寺跡金堂復元工事に加え道の駅が開設されます。この道の駅への安定した農産物の供給管理運営にいたるまで町内の各団体すなわち町観光協会、各蔬菜生産部会、JA女性部会、町商工会など幅広い団体との連携が不可欠であると思うが、その団体との協議がこれまで行われているのかどうかお伺いいたします。

【答弁】 各地区に多くある道の駅でも物産館において、農産物を中心とした地域産品の展示販売は地域産業の活性化に大きく寄与しているところがあります。その供給者である各生産部会、農協女性部や観光協会商工会等との連携は必要不可欠であります。この事業を進めるために昨年十一月まちづくり推進協議会を立ち上げ、道の駅検討部会、街並み検討部会、観光物産部会の三部会で各種研修会に参加し、検討を重ねて参りました。今後は、早急に道の駅の運営形態等について各種団

体と協議を進めていく考えです。



道の駅予定地周辺の景観

町の景観と環境汚染防止について

答弁 町長

【質問】 町は自然と緑の景観を大切にし、かけがえのない文化遺産を守り豊かさ

の実感できるまちづくりを進めております。また、名水百選のひとつ龍ヶ沢湧水を有するなどすぐれた環境に有ります。私はこの景観と環境についてお伺いいたします。

大寺地区に大型バスが数年前から無造作に放置されておりますが窓ガラスはすべて壊され無残な姿で放置されております。景観を大きく損なうばかりでなく町のイメージダウンにならないように早急に撤去すべきと考えるが町長の所見を伺いたい。

【答弁】 この放置バスについては、町として撤去について検討してきましたが、個人の財産であることから公費での撤去もできず、所有者に対して再三お願いをしてきているところでもあります。

しかし、経済的に撤去費用が出せないということがあります。今後も継続して撤去に向け、話し合いを進めていく所存であります。



道の駅完成予想図



— 遠藤 将夫 議員 —

農業経営所得安定対策は

(町長)

農業所得の安定対策について町として出来ることは継続的に対処していく

【質問】 町の基幹産業の農業を取り巻く環境は年々厳しさが増しており、農業所得が減収になっており、米、政策改革推進対策として経営所得安定対策について今年度の所得安定対策は、担い手だけを対象にした所得支援に転換されており経営所得安定対策等大綱の中の品目横断的経営安定対策転作制度見直しがありました。町行政としてこれ以外の農家に対する小規模農家への所得安定化対策や救済措置の考えは、又、稲作と給料等で生計を立てる兼業農家への対応等今後所得増額への指導をどのように進めるのか町長の考えをお伺いします。

【答弁】 今年度から品目横断的経営安定対策の導入と併せまして経営所得安定対策等実施大綱により新たな

需給調整システムに移行されております。小規模農家等への所得安定対策につきましては、新システムの中で稲作構造改革促進交付金として担い手以外の生産調整を行った農家、いわゆる小規模農家の方々に対し基準収入より下回った減収分に対して交付金を措置する制度があります。これからも農業所得の安定対策について、町として出来ることは継続的に対処していく考えでありますので、ご理解をたまわりたい。

今後の所得増額への指導であります。町では強い農業づくりのため、稲作の基盤づくりに対し、優良種子供給対策事業への助成、更には米だけに頼るといふことではなく、園芸作物、県が推奨しているアスパラ

の種子の導入、生食トマトに対する種子、苗木等の供給事業への助成も行っています。七月の行政組織の見直しの中で、磐梯町の基幹産業としてより強固なものにしていかねければならないということ、産業課を独立して今後鋭意農業政策に力を入れていく考えであります。

町の人口増加の取り組みについて

答弁Ⅱ町長

【質問】 町は、現在、若者定住住宅建設事業に取り組み、人口増加を図っていますがその中でも、町内にも多くの未婚者があり、配偶者を求めています。行政としてももう少し力を入れて取り組みを考えるべきと思

います。町長の考えをお伺いします。

【答弁】 全国どの町村も少子高齢化により人口減少が加速しており、社会問題となっており。町でもこれからの対策として若者定住化を図るために住宅整備や既存の地元企業における雇用の拡大等に支援、更にまちづくり交付金事業などを展開しております。

これらの事業についてはすぐに人口の増加につながるものではないわけですが、自立を目指す磐梯町に生まれてよかった、住んでよかったと思ってもらえる魅力ある独自のまちづくりを推進していくことにより必ず若い人たちが磐梯町に定住し、人口増加に繋がるものと確信しています。未婚者対策についても地域間交流も含め積極的に行政も支援をしてまいりたいと考えています。

行政改革の集中改革プランの取り組みについて

答弁Ⅱ町長

【質問】 平成十七年に総務省が示した地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針に基づく集中改革プランで、十七年から二十一年度までの五年間の具体的な取り組みを町民にわかりやすく実行計画が求められ十八年三月までに示さなければならなかったと思いますが、まだ議会にも説明がないがいつ出来るのかお伺いします。

【答弁】 磐梯町行政改革推進委員会は平成十六年十二月に行財政改革プログラムを内容とした中間答申、さらに平成十七年十二月に具体的な行政改革の内容とする最終答申がなされたところであり、議会の皆さんにはその都度、町民の皆さんにも広報により内容をお知らせしたところがあります。なお、集中改革プランではありますが、平成十七年度より五カ年間の集中改革プランについては、磐梯町行政改革推進委員会において検討し、県に報告した指針内容を議会の皆さんに報告したいと思っております。

一般質問

— 佐藤孝則 議員 —



人にやさしいまちづくり整備について

(町長)

安全で利用しやすい施設整備は行政の責務

【質問】 少子高齢化の進む中ですべての人が安全かつ快適に生活することのできる社会の実現を目指すことを基本理念に制定された福島県人にやさしいまちづくり条例は、私たちにとって安全かつ快適に行動できる生活環境の整備と、思いやりに満ちた地域社会の維持及び形成にあります。この条例に沿って積極的に公共施設の整備を進めることこそ町民の福祉の向上になると思います。町の公共施設もこの目的に沿って整備を進めていると思いますが、今後整備を進めて適合証の交付を考えているのか伺います。

【答弁】 この県条例は人にやさしいまちづくりのために必要な施策の推進を図り福祉の増進に資することを目的に制定されたものであります。不特定多数のかたが利用する公共施設について、お年寄りや車椅子のかた等が安全で利用しやすい

ように配慮された建物に対して、条例の整備基準に適合している場合は、やさしさマークが交付されます。当然、町の公共施設についてもお年寄りや車椅子のかたが安全で利用しやすいように配慮した施設づくりをしていくことは責務であると考え、今日まで公共施設において一つ一つユニバーサルデザインに沿った形の整備改修を図っているところ です。

【質問】 少子化の進行、共稼ぎ家庭の一般化に伴う保育ニーズの多様化は増すばかりです。就学前の乳幼児の養育を行う幼稚園と保育所は制度上厳格に区分されて運用されています。幼稚園

答弁 町長

園と保育所の区分は保育に欠けるかそうでないかが基準です。しかし生まれてくる子どもにとっては保育に欠ける家庭なのか、そうでない家庭なのかを選ぶことはできません。すなわち子どもの視点から見れば大人の都合による区分と言えます。私たちが今行うべきことは、子どもは町の宝であるという立場から幼児教育と保育を分け隔てなく実施することではないでしょうか。こうしたことから、ゼロ歳から就学前までの生活を見直したカリキュラムで教育と保育を積極的に協働することが必要だと思います。幼児の連携については、設置場所が離れていても教育的観点から連携して補完し合い、幼児の教育、保育を行っていくこととの考えが示されています。

【答弁】 町は今以上に幼児の連携を推し進めるべきだと思いますが、町長の見解を伺います。

【答弁】 小学校就学前の状況につきましては、保育所から小学校に入る場合と、幼稚園から小学校に入る場

合が殆どでありまして、家庭保育のみの幼児が直接小学校に入学するケースは見られないのが現状です。ご指摘にもありますが、保育所は厚生労働省管轄で、その内容は、幼児の保護、保育が中心です。また、幼稚園につきましては、文部科学省管轄で、3歳児より学校教育法幼稚園教育要領に基づいた教育が中心です。就学前の3歳児以上の幼児に保育と教育という観点からの格差が出ないよう、幼児の連携が議論されてきたものと認識しております。磐梯町におきましては、町の方針に基づき、3歳児までは保育所、4歳5歳児は幼稚園となっておりますので、一般的に言われている幼児連携という観点からではなく、保育所から幼稚園に接続する際の効果的なあり方についての対応をしてきたところであります。今後とも保育所と幼稚園のつなぎがスムーズに行えるよう、さらに検討を加え、就学前教育を含む幼少中一貫教育の一層の充実に取り組みでまいりたいと考えております。

一般質問



菅 沼 一 雄 議員

国際交流・国内交流のあり方について

(町長)

ともに積極的に推進していきたい

【質問】 耶麻地方は福島県の中でも有数の観光資源を持っていることから、観光立国推進基本法とこれからの地方の取り組みに関する研修を受け、磐梯町の国際交流の継続と国内交流について考察し、町長への質問と致します。

町とオリバー市の国際交流は、親善交流と教育交流をもってし、町民が海外に目を向け視野を広げ、小学生が英語に馴染み、一応の成果は認められるが、両方のトップクラスが何回も行った来たりは問題であると思う。

これからは小中学生の教育交流に重点を置き充実させるべきと考える。

オリバー市は自分たちのルーツであるイギリスのある地域と交流を結び、そこに重点を置くのは仕方ないことで、オリバー市の人数合わせをすることでなく希望者がいればそれなりの人員を派遣するようにし、一人でも多くの生徒が参加して教育交流の実を挙げることができると考えるが町長の見解を伺いたい。

【答弁】 オリバー市と姉妹都市を締結して来年で二十年を迎えるが、多くの町民の参加による友好親善を深めて参りました。

これまでに親善交流百三十九名、教育交流八十八名であります。

前回の教育交流は平成十

教育交流が非常に大切なものと認識され、州の教育委員会に働きかけ、州の教育交流として平成二十年三月に派遣の方向で進めるとのことです。

教育交流の中でホームステイは子どもたちにとって大事な教育の場でもあることから、ホームステイを考えたときお互いの派遣人員はバランスをとる必要があるものと考えます。

これからもホームステイとしての受け入れ家庭をお願いするためにも、町民の方々の参加による親善交流と次代を担う子どもたちの教育交流事業を積極的に推進して、受け入れ体制を十分に確立して参りたいと考えておりますのでご理解をたまわりたいと思います。

【質問】 慧日寺跡に金堂と中門が復元され、本寺地区が門前町として整備されることを踏まえ、磐梯町の観光客の受け入れ体制も考える必要があると思う。

国内の姉妹都市締結により、その相手側との交流は町内はもとより周辺の観光地の情報を提供し、じつ

りと交流することで、観光客を遇するノウハウを身につけ、一地域の人だけでなく多くの観光客に満足してもらい、観光立国推進の足掛かりとしたらと考える。町長の所信を伺いたい。

【答弁】 国内交流については交流活動を通して他の地域の歴史・文化・風土などを知ること、意義あるものと思います。

そうした意味で磐梯町の地域性と国内交流を目指す他の町村との相性の合う、そして磐梯町民にとって交流してよかった、町の産業の育成や経済活動の一助になるような、国内交流の確立を図っていかねればと考えています。

さらに交流先との防災協定を結び、防災面でも交流が深まっていけばなお一層素晴らしい国内交流になるのではないかと考えているところでもあります。

なお、候補地については今後の検討課題とさせていただきます。

一般質問

— 吉田 徳昭 議員 —



まちづくり整備計画の実施計画立案と目標値を示せ

(町長)

今後五カ年をかけ事業を実施する

【質問】 駅周辺整備の東口を核とした交通のアクセスと駅西口利用者の利便性の向上、駅前公園・バス巡回所・駐車場・駐輪場の整備と自由通路を含めての計画を示されたい。

【答弁】 自由通路は20・21年度に、駅前広場を21・22年度に整備する予定です。駅舎については、歴史と文化の香る駅舎として、建築当時の外観への改修を地下道の化粧直しと共にJRにお願いしています。

【質問】 史跡周辺整備事業として門前町にふさわしい景観と参道・石畳・散策通路・駐車場をどのように確立させていくのか伺いたい。

【答弁】 石畳参道については通行者の妨げにならないよう計画的に施工路線を決め今年度から5カ年をかけ整備を行います。

資料館の駐車場は地区及び地権者等と協議をしながら計画を進めています。

【質問】 街並みや遊歩道・模擬店・交流サロンの整備

でサイン看板の設置・既存建築物活用はどのように計画されるのか伺います。

【答弁】 街並み交流サロン整備は既存建物活用事業として、さらに大正浪漫館については20年度の整備を目標に準備を進めています。

案内板については、石畳参道の整備と合わせ、わかりやすいサインの設置を考えていますが、ただポールに案内文字を書くだけではなく歴史・文化・景観に合った、モニュメント等を創意工夫し、この計画の中で実現を図ってまいりたいと考えています。

【質問】 交流人口の拡大と産業の活性化を図るために農産加工施設や物産館・観光案内所を「道の駅」と一体化して観光拠点施設として整備を図り地域特産品の開発を含めそれぞれの整備方針を、今後5カ年間の計画案を立て具体的に実施されていけるのか伺います。

【答弁】 交通拠点「道の駅」の整備ですが、物産館については、20年度から建設に

着手し出来る運びで進めています。関係機関と鋭意断続的に協議を行い、情報発信機能を併せ持った施設を整備する考えです。

地域特産物の開発については、県ハイテクプラザや町にかかわる企業の協力を得て、助言を受けながら、磐梯町の産品と言われるようなものを開発していきたいと考えています。

今後5カ年をかけ、まちづくりの根幹をなす事業を行うことになるので、国県の関係機関や町の関係団体と十分な協議を持ち、事業を進めていく所存であります。

テレビ電話の推進事業と実態について

【質問】 イントラネット整備事業により、ITも光ファイバーによって高速化され、双方向告知通信システムネットワークが整備され、また行政サービスもよくなり、ホームページでの情報が開示されるようになり反映されていますが、今後の課題としてIT事業をどのように考えているのか、ま

たBフレッツの加入戸数とテレビ電話の導入実態と今後の取り組みについてどのように考え、普及させていけるのか、またテレビ電話の在庫の状況と斡旋をどう処理されていけるのか伺います。

【答弁】 町は、あらゆる場所、あらゆる人やものがネットワークに接続され、高速・大容量での通信が出来る社会の実現を目指し、公共通信ネットワークを活用した光ファイバー網の基盤整備事業に取り組みました。

その結果、千二百六世帯中Bフレッツが三百四十五世帯、ADSLが百四十四世帯加入となりました。

町内全域に光ファイバー網の基盤整備が整ったことにより、町民の方々に行政サービスと合わせて防災情報を含め多種多様な内容の情報を利用していた、だいたいのと思います。

今後、町民の方々にテレビ電話への理解と普及を推進し、双方向告知システムを活用していただくよう努力をしてまいります。

一般質問



— 佐藤 貞夫 議員 —

道の駅の運営準備状況は

(町長)

町民総参加のもとに実施していきたい

【質問】 職員が町民に奉仕し、その仕事に誇りと生きがい、やる気をもってもらいたい、人事異動が磐梯町の場合多いと思います。

それはやはり口を多く生むということであり、できるだけこういう人事異動は控えるべきだと思います。

【答弁】 役場の職員はプロでございますから、試行期間や勉強期間はありません。今、目まぐるしく厳しい現代において、職員一人ひとりが全力投球で町民の負託に応え、町民に有利な町政を展開するのが行政であります。たとえ期間が短くても適材適所で異動をしております。

【質問】 義務教育終了までの子どもの医療費の無料化と、併せて保育所に2人以上

上預ける場合は、2人目からの保育料の無料化をすべきではないかと思えます。

【答弁】 子どもの医療費の15歳までの無料化については、現在の町財政においては大変難しい状況にあります。延長保育料については他市町村は有料であるのに対し、当町では無料で保育を行っている現状をご理解いただき、2人目以降の保育料無料化につきましては現状の国の基準を運用してまいりたいと考えております。

【質問】 若者向け住宅の建設は引き続き行っていくということと、他の市町村からの若者の転入を図るだけでなく、他の市町村への若者の流出、転出を防ぐ上からも町内在住者の入居を認めるべきである。

【答弁】 少子高齢化と過疎化対策の一環として行う事業であり、入居資格を、町外に居住する世帯主が35歳未満の既婚世帯と限定しております。

【質問】 若者定住化を図るために、宅地の造成と分譲を行うべきと思いますが町長の考えをお伺いしたい。

【答弁】 町では七ツ森地区の活性化と定住人口の増加に向けた施策を展開するために、第3セクターを立ち上げ、宅地の造成と分譲の推進に向け体制を整えています。

【質問】 町が考えている物産館の主体的に行う事業の規模、さらに予算はいかほどになると考えているのか伺いたい。また、道の駅の

完成後、営業の中心の駅長はできるだけ早めに決定して、営業のノウハウを持つた人材を確保し、そして完成後に向けての準備をできるだけ早く行うべきではないかと思えます。

【答弁】 町で整備する物産館についても平成20年度の着工を目指して準備を進めています。物産館については道の駅の核となる施設であり、地域特産品の展示販売と地域情報の発信基地、さらに史跡慧日寺跡への観光客への誘導基地といった機能を併せ持つ施設の整備を予定しており、延べ床面積約520平方メートル、総事業費約2億円を見込んでおり、まちづくり交付金事業で整備を行うものであります。道の駅の責任者は、磐梯町まちづくり推進協議会からは自治体が出資する第3セクター、公社等に管理運営を委託するのがよいとの提言もあり、現在、会津嶺の里整備準備室で検討をしています。

【質問】 農産物や加工品の特産品の開発、これらの奨励、表彰、そして団体からの助成も行うべきである。

【答弁】 地域特産品の開発等は、まちづくり推進協議会の各検討部会において、各種研修会や産品開発セミナー、シンポジウムなどの勉強会へ参加し、検討を重ねてきましたので、今後は早急に各種団体と具体的な協議、検討を進めてまいりたいです。

この事業は町民参加のもとに実施していくとの考えから、現在のところ助成は特に考えておりません。

次に、道の駅に対する町民の協力についてですが、この事業は町民総参加のもとに実施していくものと考えておりまして、自分たちの道の駅でありますので、利用しやすい、そしてこの道の駅から磐梯町の産品を発信していくというような考えのもとに立っており、町民の皆さんの協力は不可欠であると考えております。

一般質問



— 鈴木 和 意 議員 —

元気の出るまちづくりは住民参加と職員の先駆性の発揮が重要ではないか

(町 長)

効率的な行政運営の中から政策形成能力、知識、技術を最大限に発揮できる組織運営にする

【質問】 町長は就任以来、十四回にも及ぶ人事異動を行ってきたが、町民からは「こんなところ変わっては町との対応に困る」という声が届いています。町の活性化には、職員が安心して職務に就けるような配慮が大事であり、その上にこそ活力あるまちづくりを真剣に模索する職員が育ち、町民を牽引する力になります。そして町民が安心してまちづくりに参画する土壌ができるものと確信していますが、職員の人材育成について伺います。

【答弁】 新たなまちづくりを進める上で、職員の英知の結集と創意工夫は必要不可欠なものであります。職員の資質と職務、職責の向上に向けた基本的な職員研修のほか、職責に応じた研修も継続し実施している最中でございます。

人事異動は適材適所を求める手法として必要でありますので、目まぐるしい人事とは思っておりません。むしろ目まぐるしい時代変遷の中でいかに対応していくかということが最大の課題であります。

【質問】 徹底した住民参加を貫くことが、自立のまちづくりに欠かせないものです。まちづくり推進協議会から提言のあった七項目についてどう具現化するのかお示しいただきたい。さらに今後も住民参加の町政を継続すべきと考えるが町長の所見を伺います。

【答弁】 まちづくりは、住民総参加が責務であると考えます。

住民協働によるまちづくり推進の観点から、昨年まちづくり推進協議会を設立し、まちづくりに関する課題と将来像の提言をいただいたところですが、提言を基に、さまざまな角度から検討を行い国県等の関係機関と協議を重ね、まちづくり整備計画を策定し、協議会に提案いたしました。

今後、整備計画に変更等が生じた場合などは協議をしながら具現化を進めてまいります。

平成二十年度の医療・保健政策について

【質問】 県後期高齢者医療広域連合は、七十五歳以上

の高齢者の保険料を確定しました。この制度による国民健康保険と医療制度への影響が推定されます。

① 後期高齢者医療制度における滞納者に対する保険証返還措置について中止すべきと考えますが。

② 国民健康保険税の算定における応益割の按分比率を引き下げ、低所得者対策をすべきと考えますが。

③ 国保税の負担の軽減は町民の切なる願いである。基金を活用した軽減対策をすべきと考えますが。

【答弁】 ① 磐梯町は、福島県後期高齢者医療広域連合の一員として取り組んでおり、磐梯町だけ保険証の返還を行わないということにはなりません。

② 応益割の按分率引き下げ策については、国保運営審議会において十分審議をお願いし決定しているところであり、現制度の中で軽減は図られていると理解をしております。

③ 支払準備基金の取り崩しについては、高額医療費の不測の事態に備えた基金であり、取り崩しまでは踏み込めない状況にあります。

農業が続けられる農政対策について

【質問】 ①「品目横断対策」にこだわらない、多種多様な集落営農の振興を策定し意欲ある全ての農家を育成支援すべきと考えますが。

② 消費者ニーズに合った安心、安全な米作り、特別栽培米や有機栽培米を奨励する支援対策を図れないか。

【答弁】 ① 集落営農の推進にあたりましては、県、農協などの関係機関と連携を図りながら指導助言をしています。集落営農の中核を担う認定農家に対しても経営改善に向けた指導を行うなど、個々の農家、さらには集落の両面から支援をしております。

② 当町の米作りは二百十九戸の農家がエコファーマーとして認定され安全・安心な作物を広くPRするため、農産物ブランド確立拡大宣伝支援事業に対して助成事業をしているところであり、今後は農家との合意形成を図った中で特別栽培や有機栽培への検討をしてみたいと考えております。

一般質問



― 穴澤 勝 俊 議員 ―

IT化推進の今後の活用について

(町長)

新システム化の導入は財政的な検討が必要

【質問】 現在、情報化社会といわれIT化(情報技術)が進み、磐梯町も平成十六年に町内全域に光ファイバー網が整備され超高速インターネットアクセスサービスを受けられるようになります、三年が経過しました。

今回、十一月二十日に地方自治法六十周年記念式典において、光ファイバーによる高速公共通信ネットワークを利用したテレビ電話(IP光電話)フレッツフォン)を活用し医療相談サービスを開始、これらの功績が認められ総務大臣表彰を受けられましたことは、大変喜ばしいことであり、素晴らしいことでもあります。しかし、役場(庁舎)内を見ますと、台帳及び書類関係がシステム化されていないのが現状とされます。今後、システム化を図り

【答弁】 町はあらゆる人やものがネットワークに接続され、高速大容量での通信が出来る社会を実現することを目指し、平成十六年度に公共通信ネットワークを活用した光ファイバー網の基盤整備事業に取り組みました。

現在、町にあるサーバーの容量ではサーバー自体が負荷となり、対応は不可能な状況であります。また、現在の書類等を電子化していくには、相当な労力と時間と費用がかかり、個人情報等もたくさん含まれていることから、セ

キュリティを確保する上で強固なサーバーの構成が必要となります。

さらに、災害時のデータの復元にかかわる体制なども構築しなければなりません。新システム化の導入となれば財政的な検討が必要となります。なお、県との書類等のやりとりや庁舎内の連絡等についてはメールで行なっており、今後も地球環境を考慮して資源の無駄を無くすためペーパーレスを積極的に取り入れ、効率的な事務の執行をしてまいりたいと考えております。

【質問】 ブロードバンドの普及拡大と共に住民の方々に関心を持ってもらうために、議会の定例会をテレビ電話での放映や、インターネット上での映像が見られるようにしてはどうかと考えていますが、町長の考えを伺いたい。



役場ロビー大型テレビ

【質問】 町内のIT化が進めば、将来的にはテレビ電話やインターネットで町の情報がすばやく観られ、回覧、広報チラシ等の紙類の配布も最小限に減らすようにすれば、ゴミの減量にも繋がると考えていますが、町長の考えを伺いたい。

【答弁】 IT化が進めば、町の広報やチラシの配布も少なくなるかもしれませんが、高齢者のかたがたを考えたときに、現在の状況下では映像だけの配信ではなかなか全町民にご理解をいただける段階ではないのではないかと考えております。

今後、町民の皆様テレビ電話についてご理解をいただき、多くのかたがたに購入をしていただくように町としても努力をしてまいりたいと考えております。

【答弁】 議会中継の放映は現在のシステムで可能であります。また、役場庁舎一階にある大型テレビでも可能となっておりますし、ホームページでの放映も可能でありますので、議会の皆さんのご検討をよろしくお願いをしたいと思います。



役場事務室



一般質問



— 鈴木 久 — 議員 —

冬期間限定のスクールバスを運行し 通学路の安全対策を講ずるべき

(町 長)

現行制度により児童生徒の足確保を図り通学路の除雪対策は万全を期した体制で臨む

【答弁】 ①通学路に対する交通安全対策についてでございますが、スクールバスの運行は現行制度により児童生徒の足確保を図り、通学路の除雪対策については万全を期した体制で通学路の確保を図る所存であります。

【質問】 ①冬期間、通学路の確保については町当局も大変苦労していると思っております。限られた通学路は雪害のためやむなく車道を歩くほかありません。その間は雪が降って十二月からだいたい三月までの四ヶ月でございます。この通学に対して親から大変心配する声が上がっております。また、運転をするドライバーからも危ないなあというような声も上がっているのが事実であります。そこで具体的な対策として冬期間安全を期するため、この期間限定のスクールバスを走らせるべきと考えるものであります。町長の見解を聞きます。



小学生の登校風景

②交通安全指導員の増員につきましては、要員確保が困難な中で設置目的とする交通安全思想の高揚や知識の普及が浸透し、指導員を廃止し、設置しない町村もあります。本町は安全・安心なまちづくりに向け交通安全指導員を設置しておりますが、町長といたしまして今後も一名体制で継続する考えでありますのでご理解をたまわりたいと思います。

皆様の声をお寄せください!

町民の皆様からのご意見を、今後活かしてまいります。

議会に関することや、議会だよりに対するご意見ご要望をお待ちしております。

議会事務局 電話 74-1219・FAX 73-4301

E-mail:bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp

常任委員会行政調査報告

各委員会において、本町の行政に反映させることを目的に、特徴あるまちづくり、地域活性化対策等に積極的な取り組みをしている先進町村を視察調査してまいりました。

経済環境委員会

日時 平成19年10月31日
11月2日
場所 栃木県那須郡那須町
埼玉県南埼玉郡宮代町

那須町
雄大な那須連山の麓に位置し、御用邸のある町として知られ那須温泉、別荘地に年間五百万人の観光客が訪れる。人口二万八千人、議会議員十六名。

◆道の駅「那須高原友愛の森」
昭和五十九年からふるさと物産センター・工芸館・野外音楽広場・自然観光館・彫刻シンポジウム・ふれあいの郷直売所、観光交流センター・那須の食レストラン等を次々とオープンし活気にあふれ、更には地元農産物の販売により地元住民と都市住民との交流が図られ、地域の活性化に寄与し大変な活況でありました。直売所は農業者を中心と

した組合員が運営し、行政がフォローする体制が確立しているとの事でした。

◆少子化対策について

頑張る地方応援プログラムにより、子育てサロン事業、放課後学童保育事業、中学校卒業まで医療費一部助成、第三子以降三歳未満児の保育料減免、幼稚園第二子等保育料免除、遠距離通学費補助等のさまざまな取り組みを行っており、出生率の下落傾向に歯止めをかける実績を挙げております。

宮代町

東武伊勢崎線が縦断し、都心のベッドタウンとして昭和四十年代から人口が急増。住民と行政の協働作業により住民参加条例を制定している。人口約三万四千人。議会議員二十名。

◆「農」のあるまちづくり
町職員の提案により、まちづくりの象徴、縮図として「新しい村」が整備され、町民相互理解、町民参画を推進しています。
地域内自給を目指し、農産物直売所や都市と農村との交流、農業機械化施設充実の支援等を、町民と企業が出資して運営しています。町民によ



宮代町にて（経済環境委員会）

る委員会を設置し、住民参加のまちづくりに務めている点は注目すべきであります。地域性を生かすため、住民との関係、近郊都市との関係、荒廃する農地の保全、農業者の減少、昔からの集落環境・自然環境を守りながら、共存共栄のためのまちづくりが必要であるかを感じ取る必要があります。



下條村にて（総務文教厚生委員会）

総務文教厚生委員会

日時 平成19年11月7日
11月9日
場所 長野県上水内郡中条村
下伊那郡下條村

中条村
村の大半が山林原野で集落が点在する農山村であり、過疎化・高齢化が進んでいる。人口二千三百人。議会議員八名。

下條村
飯田市街に二十分の距離にあり、合併をしない村づくりに取り組んでいる。人口四百人。

◆住宅施策と少子化対策

人口を増やすことを公約として、若者に定住してもらうための住宅整備に取り組んでいます。入居条件を「子どもがいる」か「結婚する若者」に限定しており、集合住宅での生活に適しているかを厳しく選考し、地域の行事の参加や消防団への加入も条件としているため、質の良い若者が入居しています。また、安い集合住宅だけでなく、屋内プールなど若者向けの施設も整備し、中学三年生までの医療費も無料化としています。

しかし、財源も厳しいため、徹底した財政の節約をしており住民の生活環境の整備には、村が資材を支給し、住民自らが工事を施工するなどして公共事業費の削減を図っています。

村長は、過疎の村の危機感から、思い切った施策を立て現在に至っていますが、十年経っても過疎が自立するのは難しいと語るのが印象的です。

◆高齢者に安心な地域づくり
高齢化率が46%と高い中において、社会福祉協議会が生活支援ハウスの運営をしており、一人暮らしが不安な高齢者が入居しています。また、要介護者と同居する家族に手当支給制度があり、さらに高齢者の社会参加の場として、社会就労センターを運営しています。

臨時会

『十一月二十六日』

◇議会議員の報酬・町長等の給与・教育長の給与・職員給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告にもとづき、期末手当を〇、〇五ヶ月、職員給与を〇、四九%引き上げる条例が可決されました。

◇一般会計補正予算 (第三号)

歳入歳出それぞれ三千八百二十万円を追加し、総額二十九億六千二百六十五万七千円となりました。

【主な内容】

- ・町道大寺小中野線道路舗装工事に伴う工事費三千八百二十万円の増
 - ・給与改正に伴う人件費の増
 - ◇簡易水道特別会計補正予算 (第二号)
 - ◇水道事業会計補正予算 (第二号)
 - ◇農業集落排水事業特別会計補正予算 (第二号)
 - ◇公共下水道特別会計補正予算 (第二号)
- いずれも職員給与の改正による増額です。

『十一月二十五日』

◇臨時地方道路整備交付金事業町道大寺小中野線道路整備工事請負契約締結について

契約金額
九千二百八万五千円

◇史跡慧日寺跡本寺地区中門復元工事請負契約締結について

契約金額
六千六百十三万九千五百円

◇一般会計補正予算 (第五号)

歳入歳出それぞれ九万六千円を追加し、総額三十三億四千三百八十九万九千円となりました。

千円を減額し、総額三十三億四千三百八十九万九千円となりました。

十三億四千三百五十五万四千円となりました。

【主な内容】

- ・農業経営資金利子補給の債務負担行為の補正
- ・災害復旧事業債限度額の変更
- ・扶助費、除雪費の増額

『一月十七日』

◇一般会計補正予算 (第六号)

歳入歳出それぞれ三十六万五千円を追加し、総額三十三億四千三百五十五万四千円となりました。

【主な内容】

- ・一月一日付人事異動による人件費各費目の補正
- ・福祉灯油緊急助成費の増
- ・慧日寺金堂復元工事に伴う管理柵設置による増

◇簡易水道特別会計補正予算 (第四号)

◇公共下水道特別会計補正予算 (第四号)

いずれも工事請負に係る負担金、工事費を整理する補正予算です。

編集後記

十二月定例会が終了した平成十九年を振り返ってみますと、私達にとっては大変厳しい年でした。原油高騰によるガソリン、灯油の値上げ更には生活関連物資の値上げ等々が重なり今後の生活にどのような形で影響が出るのか心配でなりません。

昨年一年間、議会だよりを編集し、皆様に読みやすい広報の作成に努めてまいりました。今後、更に広報編集に研鑽してまいります。

また、広報に対するご意見がありましたら是非、お聞かせください。
本年も皆様にとりまして最良の年になりますようお願いいたします。

(文責 鈴木久一)

議会の動き

11 月

- 3日… 町文化祭表彰式
- 7日～9日… 総務文教厚生委員会行政視察
- 10日… 市町村対抗ふくしま駅伝大会壮行会
- 12日… 町村議会議員研修会
- 19日… 磐梯ショッピングセンター通常総会
- 26日… 臨時議会・議員全員協議会
- 30日… 町村議会議長全国大会

12 月

- 2日… 磐梯神社1200年式年祭
- 4日… 議会運営委員会
- 6日… 磐梯七ツ森開発株主総会
町社会福祉大会・町除雪対策会議
- 10日～14日… 12月定例会
- 14日… アルツ磐梯スキー場開場安全祈願祭
- 20日… 会津総合開発協議会臨時総会
- 25日… 臨時議会
- 26日… 道路特定財源確保福島県緊急総決起大会
- 28日… 会津若松地方広域市町村圏整備組合臨時会

1 月

- 5日… 新春町民交歓会
- 6日… 町消防団出初式
- 7日… 議会広報委員会
磐梯初市開き
- 17日… 臨時議会
会津耶麻町村議会議長会議

※各種団体会合等の出席については省略させていただきます。